

# はじめに

一昨年来、新型コロナウイルスの感染拡大が産業・経済等に大きな影響を与え、私達の日常生活も著しく変わりました。そして、多くの子どもたちが通う学校にも変化を余儀なくされているところです。

感染防止に伴い教職員の研修の在り方も変わっています。

最初の頃は、各教育関係機関・団体で、公開研究会の自粛や中止などの措置も取りましたが、2年目から集合を避けるためオンラインによる講義研修や協議・交流の導入、児童生徒の研究授業についてはビデオ視聴を取り入れ参観できるよう工夫されています。

あえて遠くから集まる必要のない会議や研修のオンライン化は有効であると思います。本センターの講座や教育講演会では、ズーム配信したことにより、より多くの方々に参加していただくことができるようになりました。

このように画像・動画を介しての研修が一定の成果を挙げ、価値を見いだしてまいりましたが、元より教育は、人と人とが「直に」向き合い、かかわり合うことを前提に営まれるものと考えております。その触れ合いの中で、周りの反応やその場の空気感をリアルタイムで把握し、私達は自己の学びを形成してきたからです。

当研修センターでは今後も集合・対面研修を基本とし、状況や内容に応じてオンライン研修を取り入れるといったハイブリッド型の研修を目指していきたくと考えます。この基本のスタイルについては、授業参観や研究協議に参加された多くの受講者の声から、センターに求められていることとして強く実感しているところでもあります。

感染防止対応の中、今年度も、講師の先生方、研究協力校や授業会場校の校長先生をはじめ職員の皆様のひとかたならぬ御理解と御協力をいただき、センター事業を実現してまいりました。教職員の熱い思いと温かい御配慮に心から感謝と敬意をお伝え申し上げます。

令和4年度の研修事業計画におきましては、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため、事業内容の精選を図り、刻々と変化する感染状況に対応できるよう単年度措置の推進計画を立てております。学校現場の動きと連携しながら、研修講座を実施していくこととなりますが、教職員の弛まず学ぶ姿にセンターとして精一杯応えていきたいと考えています。

講師の先生方には、これまでと同様に管内教職員を中心に、北海道教育大学旭川校等の大学、教育行政機関、有識者などから幅広くお願いし、講座内容の充実に努めてまいりたいと思っておりますので、多くの皆様の受講をお待ち申し上げます。

令和4年4月1日

上川教育研修センター

所長 伊 東 義 晃